

2010年6月30日

プジョー、「グリーンボーナス」キャンペーンを実施

～プジョー新車成約且つ登録時、一律10万円のサポートを7月1日～9月末日まで展開～

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社（本社：東京、社長：ティエリー・ポワラ）は、新車拡販策の一環として7月1日（木）～9月末日までに成約且つ、登録されたプジョーの新車（「RCZ」は除く）に対し、一律10万円の購入サポートを実施することを発表致します。



当購入サポート施策は、「プジョーグリーンボーナス」キャンペーンの名称で展開されます。名称の由来は、プジョーが環境対策に積極的に取り組むメーカーであることに由来しています。仏プジョーは、去る1998年、プジョーにとってそして地球にとって有意義な発表を行いました。当時莫大な資金を投資した世界でも類を見ないカーボンシンク（炭素貯蔵）プロジェクトです。地球温暖化を防止するためには、CO₂排出量を低減させる事が最も重要な解決策である、そのためには森林が成長する過程で、植物や土壌にカーボン（炭素）を封じ込めるといった特性にプジョーは着目し、自動車メーカーとして初めて地球温暖化防止のためのカーボンシンク（炭素貯蔵）プロジェクトを実行に移しました。同プロジェクトでは、ブラジルのマト・グロッソ州の熱帯雨林に1000万本の樹木を3年の間に重点的に植林し、同時に森林破壊防止、生物多様性保護対策、森林再生も実行に移されました。これはパリの面積のほぼ2倍に相当する12,000ヘクタールもの面積をカバーしています。

この他にもプジョーは、

電気自動車：

2010年に、欧州市場に電気自動車の「iOn」を投入

マイクロハイブリッド：

2011年に、e-HDiマイクロハイブリッドテクノロジーを搭載した車両を欧州市場にて発売開始予定。
燃費の向上とCO₂を15%削減

フルハイブリッド：

2011年に、3008 Hybrid4を欧州市場で発売開始予定。燃費の向上とCO₂を35%削減。

ハイブリッド・プラグイン：

家庭での充電可能なHybrid4プラグインを導入予定、CO₂排出量は50g以下
といった、環境への取り組み、新たなモビリティ開発に積極的に取り組んでいます。

プジョー・シトロエン・ジャポンでは、2010年はブランド創業200周年に当たる節目の年として、環境に積極的に取り組むブランドをアピールするため、日本においても「プジョーグリーンボーナス」キャンペーンを展開し、積極的な新車拡販策に取り組んで参ります。